

4. 「社会共生実践プログラム」

(1) 「社会共生実践プログラム」とは

社会学部が重視する「理論と実践の統合的学修」（「現場主義」）を体現する教育プログラムとして、2020年度、「社会共生実践プログラム」を開設しました。「学生と地域との協働を通じた社会共生」を学びのテーマとし、1～3年次に開講される講義科目群、2～4年次に開講される実習を系統的に履修しながら、理論と実践を円環的に学ぶことができます。

(2) プログラムのカリキュラム構成

1年次の「現場主義入門」（必修）を含む社会共生実践の「基礎科目」、地域社会の理解、課題解決の原理と方法、分野別課題の理解と活動に関わる「発展科目」、各学科の学問基盤に根ざした「学科指定科目」および、学生と地域の協働を通じた課題探求と解決への実践に取り組む「社会共生実習」により構成されています（表1）。

(3) 認定証の交付

プログラムが指定する科目・単位（計30単位）を修めた学生には、卒業時に「社会共生実践プログラム認定証」が交付されます。